



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 株式会社キューブシステム 上場取引所 東
コード番号 2335 URL <https://www.cubesystem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 雅洋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 野村 宗史 TEL 03-5487-6030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,552	0.1	355	△11.8	355	△13.8	222	10.9
2026年3月期第1四半期	4,546	3.1	402	82.6	412	81.6	200	27.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 155百万円 (△45.5%) 2026年3月期第1四半期 285百万円 (25.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	14.63	—
2026年3月期第1四半期	13.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	14,264	11,153	78.2	734.79
2026年3月期	14,901	11,404	76.5	751.46

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,153百万円 2026年3月期 11,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	20.00	—	26.00	46.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		22.00	—	24.00	46.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,300	1.7	741	1.4	751	1.7	600	8.3	39.59
通期	20,000	8.1	1,800	15.5	1,810	14.4	1,500	△4.1	98.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	15,750,000株	2026年3月期	15,750,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	570,636株	2026年3月期	572,954株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	15,178,931株	2026年3月期1Q	15,058,714株

(注) 期末発行済株式数には、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式（2027年3月期1Q 567,814株、2026年3月期 570,132株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年3月期1Q 568,247株、2026年3月期1Q 688,484株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報（<https://www.cubesystem.co.jp/ir/>）で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う所得の向上やインバウンドの増加に伴う消費拡大等により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策や中東情勢の緊迫化等による世界経済の不確実性は引き続き予断を許さない状況となっており、資源・原材料価格の高騰ならびに物価の上昇等、依然として先行きが不透明な状況となっております。

このような状況下において、情報サービス産業では、顧客のサービスの高付加価値化ならびに人材不足を背景としたDX（ビジネス変革・プロセス変革）需要は継続しており、AI技術を用いた情報化投資やその導入支援が活発化しております。また、レガシーな基幹システムのクラウドへの移行（Lift）、利便性の向上に向けたシステム構築（Shift）に対するニーズも根強く、事業・業務の活発化に向けたAIサービスの本格的活用やクラウドサービス利用の拡大に伴い、今後もIT投資は拡大する見通しです。さらに、DX化の進展に伴い、システムの性能や信頼性の向上が課題として浮き彫りになり、サイバーセキュリティ対策の需要が一層高まっております。一方で、これらの需要に応える高度人材の不足から生じる受注機会の逸失や人材獲得競争の激化に起因する人件費の高騰により、収益環境が悪化する懸念があります。

当社グループにおきましては、売上高は、デジタルビジネスおよびSIビジネスにおけるAI活用等の先進技術支援案件や、モダン化案件の受注拡大により増加した一方、リソースの最適化による生産体制の確保に向け戦略的撤退等を実施したことで、横ばいとなりました。利益については、一部の大規模案件において、体制構築の遅れや生産性の低下により収益性が悪化したものの、サービス提供事業では高収益化を実現しました。また、法人税等の減少が親会社株主に帰属する四半期純利益に影響しました。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は売上高4,552百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は355百万円（同11.8%減）、経常利益は355百万円（同13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円（同10.9%増）となりました。

・ベトナムソフトウェア・ITサービス協会主催の「Sao Khue Award 2026」を受賞

ベトナム子会社は、ベトナム政府機関の傘下であるベトナムソフトウェア・ITサービス協会主催の「Sao Khue Award（サオ・クエ賞）2026」を受賞いたしました。この賞はベトナムのIT産業の発展に顕著な貢献をした企業や個人を表彰するもので、構想段階からリリース後まで顧客と一丸となって推進してきた開発・保守体制が評価され、「オフショアソフトウェア開発および保守サービス」分野での受賞となりました。

・システムクリエイト社と資本業務提携契約を締結

当社は、システムクリエイト社との長年に亘る協業関係を踏まえ、両者の事業基盤の更なる強化と中長期的な企業価値の向上を目的として、資本業務提携契約を締結いたしました。東京・福岡両拠点の連携を通じた顧客基盤および技術領域の相互補完を見込んでおり、中長期的な方向性を共有しながら社会の発展に貢献していくとともに、一層の企業価値の向上を目指してまいります。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は10,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ545百万円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産の減少794百万円、有価証券の減少99百万円、現金及び預金の増加331百万円によるものです。また、固定資産合計は3,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の減少60百万円によるものです。

これらの結果、総資産は14,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ637百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ487百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少349百万円、賞与引当金の減少207百万円、受注損失引当金の減少103百万円、預り金（流動負債「その他」を含む。）の増加125百万円によるものです。固定負債は861百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債（固定負債「その他」を含む。）の増加91百万円によるものです。

これらの結果、負債合計は3,110百万円となり、前連結会計年度末に比べ385百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は11,153百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円減少い

たしました。これは主に利益剰余金の減少187百万円、その他有価証券評価差額金の減少51百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末は76.5%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月7日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。しかしながら、国内外の政策動向や円安の長期化等による物価高騰が進み、経済への悪化懸念が大きい場合には、業績予想を変更する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,846	7,177
売掛金及び契約資産	3,694	2,899
有価証券	99	-
仕掛品	0	2
貸倒引当金	△0	-
その他	255	269
流動資産合計	10,896	10,350
固定資産		
有形固定資産	469	443
無形固定資産	42	47
投資その他の資産		
投資有価証券	1,495	1,435
退職給付に係る資産	1,287	1,281
繰延税金資産	-	0
その他	710	706
投資その他の資産合計	3,493	3,423
固定資産合計	4,005	3,913
資産合計	14,901	14,264
負債の部		
流動負債		
買掛金	800	791
短期借入金	230	230
未払法人税等	372	22
賞与引当金	469	261
役員賞与引当金	7	2
受注損失引当金	180	76
その他	676	863
流動負債合計	2,736	2,249
固定負債		
株式報酬引当金	225	230
株式給付引当金	66	71
資産除去債務	291	292
その他	176	267
固定負債合計	759	861
負債合計	3,496	3,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,400	1,400
資本剰余金	1,491	1,491
利益剰余金	8,430	8,243
自己株式	△546	△544
株主資本合計	10,775	10,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	451	400
為替換算調整勘定	47	49
退職給付に係る調整累計額	129	112
その他の包括利益累計額合計	629	562
純資産合計	11,404	11,153
負債純資産合計	14,901	14,264

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,546	4,552
売上原価	3,425	3,485
売上総利益	1,120	1,066
販売費及び一般管理費	717	711
営業利益	402	355
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5	4
為替差益	1	-
その他	3	0
営業外収益合計	11	6
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	-	2
その他	1	2
営業外費用合計	2	6
経常利益	412	355
特別利益		
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	1	-
税金等調整前四半期純利益	413	355
法人税等	213	133
四半期純利益	200	222
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	222

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	200	222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	△51
為替換算調整勘定	△5	2
退職給付に係る調整額	△50	△17
その他の包括利益合計	85	△66
四半期包括利益	285	155
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	285	155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	16百万円	46百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、システムソリューション・サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。